

平成29年度 埼玉県学力・学習状況調査結果 太田小学校 6年生

国語

全体	平均正答率	H28小5 レベル(平均)	H29小6 レベル(平均)	学力の伸び (平均)
太田小	69.1	7-C	7-A	2
久喜市	69.1	7-C	7-A	2
埼玉県	68.2	7-C	7-B	1

領域別	平均正答率		
	太田小	久喜市	埼玉県
話すこと・聞くこと・書くこと	53.8	53.6	52.4
読むこと	78.3	75.9	74.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.8	69.2	68.4

算数

全体	平均正答率	H28小5 レベル(平均)	H29小6 レベル(平均)	学力の伸び (平均)
太田小	66.9	6-A	7-B	2
久喜市	63.3	6-B	7-C	2
埼玉県	62.3	6-B	6-A	1

領域別	平均正答率		
	太田小	久喜市	埼玉県
数と計算	72.7	71.4	70
量と測定	61.7	58.8	59
図形	69.2	62.6	61.7
数量関係	60.5	55.6	53.9

◆調査の結果から見てきた児童の様子

- 国語の「読むこと」に関しては、よくできている。→日ごろから読書を進んで行うことで、文章を読むことに慣れている。
- 国語の「書くこと」に関しては、最後まであきらめずに書こうとする意欲や努力が見られる。
- 算数の「図形」に関する問題の正答率が、他領域と比較して県平均よりかなり高かった。
→学習を進める過程で習慣化し、図形を描くことに慣れている児童が多い。
- 算数の記述式の無回答率が0%であった。→難しい問題でも挑戦する意欲が高い。

◆課題が見られる内容

- (国語) ・「読むこと」に関しては、「心情を読み取る」ということが苦手な傾向である。
→場面の様子や情景から、登場人物の気持ちを考えながら読むようにする。
・漢字や言語に関する問題の正答率が低い。
→ミニテストで定着を図る。6年生の漢字だけでなく、これまでの漢字を定期的に復習することも必要。
- (算数) ・数量や図形について、基礎的な知識、技能を問う問題の正答率が県・市平均より低い設問が見られる。
→常に既習事項をくり返し復習し、より幅広い知識が習得できるようにする。